

令和8年度 全国学力・学習状況調査の瑞穂町の結果、分析及び方策等について

I 令和8年度全国学力・学習状況調査の結果（国語、算数・数学、英語）について

1 結果内容

小学校6年生及び中学校3年生を対象に、全国学力・学習状況調査が令和8年4月23日（中学校英語は4月20日から5月29日の期間内で分散実施）に行われました。この調査は、児童・生徒の学力や学習状況の把握・分析を通して、教育委員会の取組の成果や課題の検証、改善を図るとともに、学校における教育指導の改善・充実に役立てることを目的として実施しています。

令和8年度の結果と令和7年度の結果の比較（平均正答率）及び全国との差（％）

<小学校第6学年>

	国語			算数		
	全国	町	国との差	全国	町	国との差
7年度	67.0	55.7	-11.3	58.2	41.9	-16.3
8年度	60.9	50.8	-10.1	56.4	46.3	-10.1

<中学校第3学年>

	国語			数学			英語（平均 IRT スコア）		
	全国	町	国との差	全国	町	国との差	全国	町	国との差
7年度	54.6	49.3	-5.3	48.8	39.3	-9.5			
8年度	63.9	58.0	-5.9	57.0	45.0	-12.0	499	468	

2 傾向

○ 小学校国語では「書くこと」において、本や文章の一部を引用して、自分の考えが伝わるように、書き表し方を工夫することに課題が見られました。今後の指導に当たっては、引用について考える場面、書いた文章を交流する場面を取り上げ、引用する目的を明確にすることや、引用部分と考えとの関係を区別して書くことの指導を充実させていきます。

中学校国語では、「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにするに課題が見られました。今後の指導に当たっては、具体的な場面を思い浮かべ、改めて生徒自身が文章をどのように捉えて精査・解釈したのかを振り返る指導を充実させていきます。

○ 小学校算数では、「図形」と「変化と関係」において、体積の求め方（求積公式）は分かるものの、立体の体積の意味を理解することや、基準量、比較量、割合の関係を正しく捉えることに課題が見られました。今後の指導に当たっては、体積も面積などと同じように、単位の大きさを決めるとその幾つ分として数値化して捉えることができることを理解できるようにする指導や、量と割合の違いについて、図や数直線で表現するなどしながら理解を深める指導を充実させていきます。

中学校数学では、「関数」において、数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題が見られました。今後の指導に当たっては、問題解決の見通しを立てる場面において、自分の考えた解決の方法を表現してみることや、問題解決を振り返る場面において、どのような方法で解決したのかをまとめてみるように指導を行っていきます。

Ⅱ 令和8年度全国学力・学習状況調査の結果（児童・生徒質問紙調査）について

小学校6年生及び中学校3年生を対象に、全国学力・学習状況調査と同時に、児童・生徒の学習意欲や生活状況に関する質問紙調査も行いました。

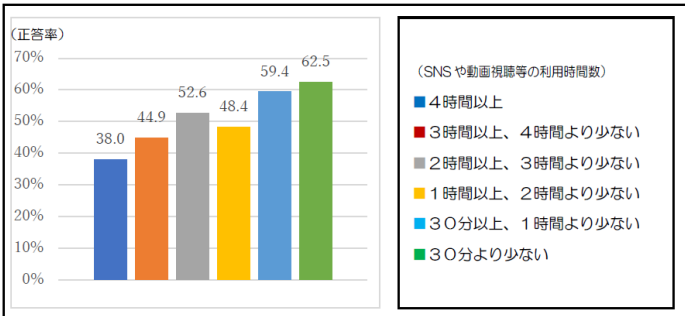
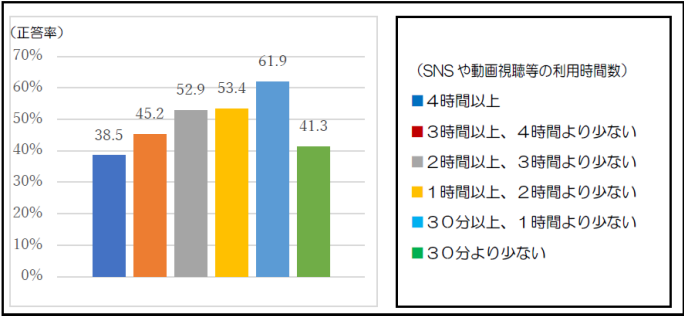
令和8年度 質問紙調査の結果（抜粋）（％）

1 平均正答率と意識調査の相関関係の例

普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等（以下、「スマートフォン等」）でSNSや動画視聴などをしますか（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間を除く）。

（小学校第6学年 算数）

（中学校第3学年 数学）



※国語、英語においても、上記の算数・数学と同様の傾向が見られました。

2 質問紙調査の結果のうち、瑞穂町において「課題となる項目」（抜粋）

＜小学校第6学年＞

黄色・・・前回より改善が見られた項目 青色・・・前回より下回った項目

質問事項	選択肢（抜粋）	令和8年度 町	全国	国との差	令和7年度 町	短評
学校の授業以外に普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか	2時間以上	21.1	21.6	-0.5	17.6	1日あたりの勉強時間が、2時間以上の児童の割合が増加したが、1時間未満、全くしないの生徒の割合が増加した。
	1時間以上2時間より少ない	17.0	28.3	-7.5	21.6	
	1時間未満、全くしない	61.5	49.3	12.2	60.8	
5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	当てはまる、どちらかといえば、当てはまる	65.6	77.6	-12.0	73.1	課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ児童の割合は減少した。また、全国平均より12ポイント下回っている。
5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	当てはまる、どちらかといえば、当てはまる	67.0	73.4	-6.4	71.4	自分の考えをまとめる活動を行った児童の割合は減少した。

＜中学校第3学年＞

質問事項	選択肢（抜粋）	令和8年度 町	全国	国との差	令和7年度 町	短評
学校の授業以外に普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか	2時間以上	26.7	30.1	-3.4	25.5	1日あたりの勉強時間が、2時間以上の生徒の割合が増加し、1時間未満、全くしないの生徒の割合が増加した。
	1時間以上2時間より少ない	25.1	31.5	-6.4	30.2	
	1時間未満、全くしない	47.6	37.9	9.7	44.2	
1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	当てはまる、どちらかといえば、当てはまる	72.8	78.8	-6.0	72.1	課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ生徒の割合は増加したが、全国平均より6ポイント下回っている。
1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	当てはまる、どちらかといえば、当てはまる	61.1	70.8	-9.7	59.0	自分の考えをまとめる活動を行った生徒の割合は増加したが、全国平均より10ポイント近く下回っている。

3 傾向・分析

- 上記のグラフのとおり、1日当たりのSNSや動画視聴等の利用時間が長ければ長いほど、学力調査の正答率の結果が低くなる傾向が見られました。1日当たりのSNSや動画視聴等の利用時間を決めるなどして、学習時間を確保することが大切です。
- 主体的・対話的で深い学びに取り組んだと考える児童・生徒ほど、各教科の正答率・スコアが高い傾向が見られました。瑞穂町の各学校では、引き続き、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善に努めていきます。